

町の主な定住施策

仕事・暮らし

■農業

Uターンしまね産業体験

農業等の産業体験にかかる滞在経費の一部を助成
 助成金額:月額12万円(3ヵ月以上~1年以内)
 対象者:県外に住んでいる人
 募集期間:随時
 【地域振興課】

■農林業定住研修

農家や農業法人での研修や、座学講座などで就農を支援
 助成金額:月額15万円(最長2年)
 対象者:おおむね40歳以下の自営就農を目指す人
 募集期間:毎年1月ごろ
 【地域振興課】

■青年就農給付金

就農初期の農業経営を支援
 給付金額:年間最大150万円(夫婦で農業経営の場合は1.5倍)最長5年間
 対象者:人・農地プランに位置づけられた原則45歳未満の認定新規就農者
 募集期間:随時
 【産業振興課】

■農業後継者育成支援事業補助金

農業開始に必要な施設、機械整備にかかる経費の一部を助成
 ①施設の設置、生産基盤の整備/補助率3分の2以内
 ②機械の購入・設置/補助率2分の1以内
 対象者:認定就農者や農業後継者、半農半X実践者で、町の振興作物(トマト・メロン・パプリカ)を作付けする人
 募集期間:随時
 【産業振興課】

■園芸リースハウス

ハウス使用者の事業計画に応じた規模のハウスを町が整備(使用者はハウスの使用料を負担)
 対象者:認定就農者や認定農業者、農業生産法人で、町の振興作物(トマト・メロン・パプリカ)を作付けする人
 募集期間:随時
 【産業振興課】

■一般

産業人材育成助成金

個人や団体、法人が、町の無料職業紹介所等を通じて、新たに正社員を雇用し、求人した職種に必要な技術習得や資格取得の研修にかかる経費を助成
 ・町外研修/補助率2分の1(上限20万円)
 ・職場内研修/賃金相当額の一部(上限5万円・4ヵ月)
 【産業振興課】

■無料職業紹介

役場窓口で、ハローワークと同様の就職相談が受けられます
 対象者:求職者
 【地域振興課】

■Uターン

町外通勤助成金

助成金額:月額5千円(最長12ヵ月)
 対象者:新たに町内に住居を移し、町外の事業所に勤務する65歳以下の人(月17日以上通勤)
 【地域振興課】

■お試し暮らし住宅

6千円から利用できる、家電や寝具等が整備された住宅。1泊~最長1ヵ月まで利用可能
 対象者:移住を検討している人
 【地域振興課】

■しまね暮らし体験プログラム

飯南町への移住に関心を持つ人を対象に町を案内。宿泊費や各種体験料を減免
 対象者:県外に住んでいる人
 【地域振興課】

■住宅

住宅リフォーム助成金

対象工事/助成率
 ・工事費50万円(税込)以上の下水道、浄化槽接続工事/工事費の10分の1(上限10万円)
 ・3世代居住の改修工事/工事費の10分の2(上限20万円)
 対象者:町税等の滞納がない人
 【建設課】

■定住促進賃貸住宅

セミオーダー方式の一戸建て賃貸住宅。25年賃貸後に土地・建物の所有権を譲渡
 家賃:月額4万円(25年間)
 対象者:おおむね40歳以下の夫婦
 【地域振興課】

■住宅整備助成金

住宅を新築や増築、購入する際に金融機関から借り入れた資金の利子額の一部を助成
 助成金額:上限50万円
 対象者:満45歳以下の人(Uターン者は満65歳以下)
 【地域振興課】

■空き家改修助成金

助成金額:上限50万円
 対象者:Uターン者等に賃貸するために改修した空き家の所有者
 【地域振興課】

■空き家片付け助成金

助成金額:上限5万円
 対象者:賃貸や売却をするために片付けた空き家の所有者
 【地域振興課】

■空き家バンク

町の空き家バンクに登録し、入居希望者とマッチング。約100件が登録中。
 【地域振興課】

■暮らし・医療

町営バス料金の助成

半額:高校生、障がい者手帳等所有者
 無料:中学生以下、飯南高校通学(定期券発行)
 (通常料金は、町内200円、町外400円)
 【住民課】

■デマンド型乗合タクシー

利用者の要望(予約)に応じて運行する乗り合い交通
 運賃:1乗車300円、障がい者・高校生は半額、中学生以下は無料
 運行地域:頓原・来島地域
 【住民課】

■感染症予防事業

年齢等に応じて助成あり
 【保健福祉課】

■健康診査・がん検診事業

・健康診査20歳以上(自己負担1000円)
 ・各種がん検診20歳以上(自己負担100円~800円)
 ・節目人間ドック(自己負担4千円~6千円)
 ・40歳無料人間ドック
 【保健福祉課】

■特別障害者手当

手当額:2万6830円(障がいの程度による基準や所得制限あり)
 対象者:身体または精神に重度の障がいがあるため、日常生活で常時特別な介護が必要な20歳以上の人
 【福祉事務所】

■お問合せ 住民課76・2213 産業振興課76・2214 地域振興課76・2864 建設課76・3942 保健福祉課72・1770 福祉事務所72・1773

飯南町のいいところは、好きなところは、ご家族で「まず」は10個紙に書き出してきてください。もっと、この町を好きになれるのではないのでしょうか?



定住担当の、大江・岡本・田部です。(写真右から)移住や定住、空き家の活用、就職に関することなど、なんでもご相談ください。皆さんからのお問い合わせをお待ちしています!
 ■お問合せ
 地域振興課(定住担当) 電話76・2864



Uターン経験者は、語る。 Vol.3

空岡太志さん<志津見>

5月2日にオープンしたイオンモール出雲。その1階、中央の通りを歩いていると、甘い香りと一緒に「いらっやいませ!」の声が聞こえてきます。香りの正体は「クレープ」。「おいしそうにクレープをほお張るお客様の姿を見ると、嬉しくなりますね。やりがいはお客さんの笑顔」と話すのは空岡太志さん。5月にオープンしたこのクレープ屋さんの店長です。

大阪からUターン

空岡さんは、志津見の出身。頓原小学校、頓原中学校、飯南高校と進学し、その後、奈良県内の大学へ。卒業後は大阪で、飲食店の設計や施工管理をする会社に3年間勤務の後、今年の春、飯南町にUターン。今は志津見の実家で暮らしています。「いつかは、飯南ではなくても、近くに戻ってきたいと思っていました」

お話を聞くと、今までは当たり前だと思っていた、見えていなかった、町の良さが見えてきます。皆さん、口々に言われるのが「地域の暖かさ」。都会にはない、暖かい「つながり」。当たり前を、当たり前と思わないことで、良さが見えてくるのではないのでしょうか。
 町では、「仕事」「くらし」「縁結び・子育て」に関係する様々な施策を行っています。
 5ページから各施策を紹介しています。「この制度の対象になるかも」と思われたときは、まずは担当課へご一報ください。

■仕事は出雲で

今の職場は、親戚や家族の紹介で勤めることになりました。元々、飲食店には興味があり、高校生の頃の夢はパティシエ。「食べるのも作るのも好きで、クッキーを焼いたりもしていました」

店長ということで、発注やシフトの調整はもちろん、採用面接をすることもあります。従業員は空岡さんを含めて6人。アルバイトの高校2年生の女性は、「楽しくてノリのいい店長さんです!職場の雰囲気明るくなりますね」と笑顔で話してくれました。

今回、町の町外通勤助成金制度を申請した空岡さん。「公民館の人から教えてもらうまで、制度のことは知りませんでした。ガンソリン代も結構かかるので助かります」

■充実している飯南での生活

写真を撮るのが好きで、友達との旅行ついでや、地域の運動会や秋祭りでも撮影しているという空岡さん。ワーキングホリデーでいるいるな国へ行き、世界の絶景を撮りに行くのも夢なのだそう。同級生とは毎年、夏にはバーベキュー、お正月にも集まっているとのこと。

「実家暮らしなので、食事や洗濯、特に家事は楽をさせてもらっています。確かに遊ぶところは少ないですが、生活するには十分。遊びたいければ車で出掛ければいいですし。星や自然もきれい。店長として、忙しい日々が続くことも多いですが、充実した生活を送ることができています」



愛用のカメラでパシャリ

鮮やか! あっという間にクレープ生地が完成